

☆  
**まちづくり  
ニュース**



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

173号

☆ 2015年9月22日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## 常盤台駅80周年記念展

— 南宇都宮駅からの大谷石の道 —

10月1日(木)～6日(火)

10時～17時(4日は15時、最終日16時終了)

於 「ギャラリー服部」

記念講演 10月4日(日) 15時～17時

講師 花上 嘉成氏(東武博物館名誉館長)「東上線と常盤台」  
小野田 滋氏(鉄道総合技術研究所)「鉄道と駅舎」(仮)

会場 板橋区立中央図書館B1視聴覚室

定員 50名 要申込(Tel. 050-5534-2200 10時～17時  
留守番電話の場合はお名前とお電話番号をお伝え下さい)

主催 常盤台の景観を守る会 常盤台まちづくり委員会

### ○ 中央図書館はどうなるの？

— 平和公園周辺は強い反対 —

8月3日、9月7日と2度に涉って常盤台地域センターで、平和公園の地元住民を対象とした説明会がありました。図書館が近くなるなら嬉しいという声も聞いていましたが、会場では全く反対の声ばかりでした。今までの区のやり方では納得できないのも当然です。

9月19日の「広報いたばし」に中央図書館区民懇談会委員の募集が出ています。募集人数は3人で、年度内2回程度の会議があるそうです。ここでいくら頑張ったとしても、結論は別に設けた検討会が出します。検討会は区の任命制です。適当に反対意見を言う人を混ぜながら多数は賛成派が占めるように人選するでしょう。そこにも入れてもらえず下部組織の懇談会で年2回3人の区民の意見がどれほどの影響を与えるのでしょうか。区民は決定権から遠ざけられてはいませんか？板橋区がこういうやり方を根本的に変えない限り、区民の不信感はぬぐえず、無関心が広がり、非民主的状态が循環するのではないかと心配です。

## 宮澤邸の内部

Iさんが購入したので保存が可能となった二丁目の宮澤（近藤）邸の内部を、Iさんのご好意で見ることができました。不特定多数への公開は、文化財として扱われるべき建物であることから責任が持てなかったもので、限られた人たちで九月十三日に内覧し、とりあえず保存されたことを祝いました。業者が購入すれば確実に更地にされ、マンションが建っていたことでしょう。この建物を大事に大事に使ってきた故宮澤富美子さんも喜んで下さっていると思います。

昭和十三年の建売住宅です。建売というところは安物のイメージですが、当時の建売は、建設会社が競って建てたモデルハウスだったので。

当時売り出し中の常盤台住宅地を見に来た親友同士が、一人はこの建物が気に入って即座に購入、もうひとりはその隣が売約済みだったので直ぐ近所を購入、両家は一つの家族のように子供たちを育てました。相続者が亡くなるまで、姉妹のように交流していたご近所の方が全ての面倒を見ていました。

内部はほとんど分譲当時のまま、金具や天井板など、良く保存されていました。外観も当時のままで、道行く人も憧れの思いで見ている常盤台の住宅地を代表する建物だと思います。

## 安保法案可決

指導者がひどいと国民は不幸です。アメリカと軍需産業だけがほくそえんでいるのでは？。やはり一党独裁にしてはだめ、ということでしょう。色々な人の正体が見えてきた局面でした。

## 困ったハト小屋

過日、まちづくりニュースに掲載されたように、常盤台一、二丁目地区は板橋区の景観重点地区に指定されていますが、その二丁目のある家で、鳩レースの為に飼育されているハトは、一〇〇羽以上上っているのです。

鳩を一日に二回以上飛ばし、道路や他人の土地、家屋を鳩の糞で汚し、羽音や臭いと共に近所の住民を悩ませています。

飼い主は十数年前に他の地区から常盤台に転入し、自宅の敷地の前方に幼少時からの念願の鳩舎を建てたとのこと。

しかし、半世紀以上前と現在とは東京の状況が異なります。その頃は、新聞社はまだ伝書鳩を多少は通信に利用し、都内でも多くの飼育者がいたと思われれますが、今や常盤台のような都心に近い住宅地で沢山の鳩を飼育することは異常な事と言えるでしょう。又、鳩の糞が原因の健康被害として、オウム病、クリプトコッカス症、アレルギー症などが知られています。鳥ウィルスも心配です。

周辺住民が再三要望しているにも関わらず、改善する様子が全く見られません。

ところで、数百年前から、代々住み継がれている京都では、「相手に迷惑をかける住まい方をしてはならない」と言う不文律があると言います。

飼育者はこの言葉をしっかりと受け止めて、本人の代わりに毎日デッキブラシで掃除をしているご家族や、迷惑をかけている周辺住民へのあり方を考えて頂きたいものです。 Y・I

## 常盤台公園のはなづくり

十一月に頼む苗を注文しました。ストックは冬中、丈夫に咲き、においも良いので沢山頼みました。パンジー・ビオラも定番の花です。残念ながら何色が来るのか解らないので、来たもので配色良く考えねばなりません。

皆さんのご協力で今年もチューリップの球根が買えます。これは色が選べるので、毎年変化させられます。

何色の、どんな咲き方の、いつごろ咲くチューリップなのか、考え合わせながら球根を埋めていく作業は楽しいものです。春を待ち望む時間があるからこそ、芽が伸び、つぼみが膨らみ、花卉が開いていく春の喜びが増すというものです。

ただ、芽が出てくるまでの長い冬の季節、チューリップを植えた場所は何も無い地面のままなので、殺風景になってしまふし、花時が短いと言う欠点もあります。

十一月二十日（金）が苗の受け取り希望日なので、植え付けに助っ人が来てくれるのを期待しています。シャベルを持って一〇時ごろお出で下さい。

公園ではいつもボランティアで花や木の世話をする人を歓迎しています。